

# 令和6年第1回軽井沢町議会定例会12月会議

## 一般質問通告

通告順	議席番号 議員氏名	質問事項	備考
1	11番 横須賀 桃子	○共に生きる未来・社会の実現について	
2	12番 川 島 さゆり	○観光立町としての渋滞対策について ○観光客の自転車乗車時のヘルメット着用と「ながらスマホ」について	
3	9番 利根川 泰三	○マンション等の建設ラッシュについて ○自然保護対策要綱の見直しについて	
4	3番 小 山 裕 嗣	○外部専門人材の教師への拡大、特別免許状の活用について ○ビジネス・プロセス・リエンジニアリング（BPR）の進捗状況について	
5	4番 眞 島 聡 子	○公衆トイレとトレッキング環境の充実等について ○重層的支援体制整備事業と支援会議について	
6	5番 福 本 修	○森林生態維持に不可欠なニホンジカの駆除方針について ○公共交通ネットワークのビジョンについて	
7	2番 小 林 天 馬	○太陽光パネルの廃棄処理や安全対策について ○下水道未整備地域への浄化槽維持管理補助について	
8	6番 中 澤 睦 夫	○防犯カメラ・センサー設置への助成について ○バランスある定住対策と家賃補助について ○遊休農地対策における大豆栽培の振興、脱穀機の共同利用への助成について	

令和6年第1回軽井沢町議会定例会 1 2月会議

一般質問通告書

通告順	議員氏名	質問事項
1	11番 横須賀 桃子	<p><b>○共に生きる未来・社会の実現について</b></p> <p>「障害者差別解消法」が改正され、4月からは事業者による障がいのある人へ「合理的配慮」を提供することが義務化された。この法改正は、障がい者が自己実現を図るための重要な一歩だと考えるが、現実には障がい者にとって必要な配慮が提供されていなかったり、事業者側も経営に影響する負担とのバランスが難しかったりと課題がある。そこで伺う。</p> <p>(1) 「合理的配慮」という言葉は曖昧で、障がい者が必要とする配慮内容は人それぞれであり、事業者もどこまで対応すれば良いのか判断が難しいが、両者とも正しく理解するための周知啓発をどのように実施しているのか。</p> <p>(2) 「合理的配慮」の提供は、障がい者や事業者に対し、現状、どの程度認知または浸透しているのか。また、具体的に提供された事例はあるか。</p> <p>(3) 「合理的配慮」の実施状況を評価するための町独自の指標や基準はあるのか。また、内閣府でも障がい者差別に関する相談センター「つなぐ窓口」を試行的に設置しているが、町では障がい者と事業者からのフィードバックの受け付けや、サポート体制はどのようになっているのか。</p> <p>(4) 合理的配慮を提供するには、例えばスロープの設置など一定のコストが伴うが、バリアフリーを進めるための費用補助や、障がい者情報アクセシビリティ向上のための改善費用など、事業者が障がい者への配慮を行う際の経済的負担を軽減する取り組みは考えているか。</p> <p>(5) 例えば、スペシャルオリンピックスや手話サークルなど、障がい者と関わりのあるボランティア・地域団体を巻き込んだ、町ぐるみでの「心のバリアフリー」・「合理的配慮」を更に進化させるための具体的なビジョンや計画はあるか。</p>

通告順	議員氏名	質問事項
2	12番 川島 さゆり	<p><b>○観光立町としての渋滞対策について</b></p> <p>インバウンドや国内観光客が回復傾向にある現在、今年の観光シーズンや連休では、多くの交通渋滞が起こり、循環バスの遅延や、タクシー等が全く動けない状況がみられ、観光客が目的地に到着できないという、観光地としてあってはならない事態であった。町の対策を求める声を聞くことから、次について伺う。</p> <p>(1) 今年の連休や紅葉シーズン等の通勤通学、帰宅時間帯も含めた渋滞箇所は例年通りであったか。</p> <p>(2) 町の交通快適化対策の情報周知施策の状況は。</p> <p>(3) 町営旧軽井沢駐車場が工事中ということもあり、他の町営駐車場及び民間駐車場も満車状態なのにも関わらず、そういった情報を得られなかった車で渋滞が発生していた。</p> <p>今後、駐車場不足の問題がある中、現地に行く前に町営駐車場の空車、満車の情報をDXの活用で情報が得られるような対策はできないか。</p> <p>(4) 旧軽井沢エリアは、旧軽銀座の賑わいに加え、雲場池の紅葉、その先の白糸の滝と同じ方向に当町の代表的観光地がある。また、来年には旧三笠ホテルのオープンを控えており、旧軽井沢駐車場が夏にオープンされたとしても駐車場が不足し、さらに渋滞するのではと懸念されるが、町の考えは。</p> <p>(5) 駐車場のない雲場池へのシャトルバス運行は昨年と比べ利用状況はどうであったか。また、利用者の声は。</p> <p>(6) 以前のように夏期だけでも車の進入を止め、パーク&amp;バスライドの実施はできないか。</p> <p>(7) 他自治体から民間企業への車での通勤で起きている渋滞もある。また背景には、当町の賃貸住宅等の家賃が高くて住めないという要因もあるが、しなの鉄道沿線にある企業に連休や夏期は車での出勤を控えるよう働きかけは行っているのか。</p> <p><b>○観光客の自転車乗車時のヘルメット着用と「ながらスマホ」について</b></p> <p>(1) ヘルメット着用は努力義務ではあるが、住民等や、レンタサイクル業者、旅行代理店等への周知・働きかけはどのようにしているのか。</p> <p>(2) 道路交通法の改正により、自転車の「ながらスマホ」が禁止され罰則が強化された。これに伴</p>

通告順	議員氏名	質問事項
2	12番 川島 さゆり	い、町においても何らかの周知は行っているのか。

通告順	議員氏名	質問事項
3	9番 利根川 泰 三	<p><b>○マンション等の建設ラッシュについて</b></p> <p>現在、町内各地においてマンションやホテルの建設が進んでいることを踏まえ、以下について伺う。</p> <p>(1) 町内におけるマンション及びホテルの建設状況について、建設中案件と計画中案件の数をそれぞれ伺う。</p> <p>(2) 過去の同僚議員によるマンション規制に関する一般質問において、当時の町長は「現在あるマンションの戸数が個別住宅として建てられれば、より広大な面積が必要となり森や林はさらに切り開かれる。」と答弁していたが、町の考えは現在も変わっていないか。</p> <p>また、令和4年3月における私の一般質問において、当時の環境課長からの答弁で「第一種低層住居専用地域での同一敷地面積を分譲住宅地と集合住宅で規制を比較した場合のイメージ」を説明された。その答弁内容を町民に周知するよう検討してほしいと伝えていたが、その後の対応状況はいかがか。</p> <p>(3) 国道18号軽井沢バイパス沿いの旧武蔵野音楽大学跡地では大掛かりな工事が行われている。現場では非常に高い場所を削っているように見えるが、本工事は町の条例等に則り適切に行われているものか。</p> <p>(4) マンション等の建設が多数見受けられるため、水道供給や下水道処理について心配する町民の声が届いている。上下水道関係で不安な点はないか。</p> <p>(5) マンションが乱立することで人口の増加が見込まれる。この人口増を町は肯定的に捉えるのか。</p> <p>(6) 当町の人口増により、道路渋滞、駐車場不足や騒音（別荘地が静穏ではなくなる）などの問題が発生すると思われるが、これら諸問題への対策を含めた町の考えを伺う。</p> <p>(7) マンション等の建築物が乱立することで、緑豊かな軽井沢のイメージが損なわれると考える住民がいる。今後、更なる景観整備のための規制が必要となると考えるが、軽井沢のまちなみを守ることを公約としている町長の考えを伺う。</p> <p><b>○自然保護対策要綱の見直しについて</b></p> <p>現在行われている「自然保護対策要綱」の見直しについて伺う。</p> <p>(1) 要綱の見直しは、いつ頃までに終了し実行は</p>

通告順	議員氏名	質問事項
3	9番 利根川 泰三	いつごろになるのか。 (2) 罰則のない要綱のままで、軽井沢の自然を守 っていけると考えているのか。

通告順	議員氏名	質問事項
4	3番 小山裕嗣	<p><b>○外部専門人材の教師への拡大、特別免許状の活用について</b></p> <p>教職の特別免許状は、教員免許状を持たずに、知識や経験豊富な社会人が教師として学校教育に関わる仕組みで、昭和63年に導入された。学校現場の多様化や活性化が期待されており、近年その授与数も増え始めている。現状、全国的に慢性的な教員不足の中、教員採用試験合格者の7割超が教員になることを辞退する自治体も出てきている。当町においても、特別免許状制度の活用は、教員確保において有効な手段の一つと考えられることから、次について伺う。</p> <p>(1) 文部科学省は「教員免許を持たない社会人を教職に登用する際に与える「特別免許状」制度について、これまで以上に自治体が活用しやすくするために「特別免許状の授与に係る教育職員検定等に関する指針」を今年5月改訂した。専門人材を採用するために設けられた制度だが、地域によって活用にはばらつきが目立つため、積極的に採用に役立てるように求めていくという。改定された指針では、個別のホームページを作り分かりやすく広報し、特別免許状の授与を前提とした選考の実施、任期付きなどで任用できるようにする等、指導力を過度に重視しすぎないなど、制度活用のハードルを下げる項目が盛り込まれた。令和4年度の授与件数は、500件に上るなど今後も活用が進んでいくと考えられるが、一連の国の施策について当町の所見を伺う。</p> <p>(2) 特別免許状の授与件数は、自治体によって運用にはばらつきがあるが、当町においては既にI S A Kの先進的事例もある。学びの多様性を重視する、学びの多様化学校「軽井沢オープンドアスクール」の令和9年度開設に向け、多種多様な人材が居住している当町だからこそ、外部専門人材を積極的に活用すべきと考えるが当町の考えは。また、軽井沢オープンドアスクール設置準備委員会の中でも特別免許状制度の活用についても協議すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(3) クラブ活動完全地域移行が控える中、文部科学省は、今年9月13日、オリンピックなどへの出場経験があるアスリートが教員免許がなくても、教員として採用しやすくなる新たな取り組みを都道府県教育委員会に周知した。具体的には協議団</p>

通告順	議員氏名	質問事項
4	3番 小山裕嗣	<p>体などと協力し、教職に関心のあるアスリートのリストをつくり、各教育委員会に提供、必要な知識や技能を学べるよう研修の教材を提供することになっている。教員としてアスリートの積極採用について、オリンピックが居住する当町としてはどのように考えるか。</p> <p><b>〇ビジネス・プロセス・リエンジニアリング（BPR）の進捗状況について</b></p> <p>全般の業務を洗い出し、抜本的に見直して再構築するビジネス・プロセス・リエンジニアリング（BPR）を、4月から派遣されているCDO補佐官に助言をもらう中で、現在、当町においても実施していると承知している。このBPRを実施することでAIやロボティックプロセスオートメーション（RPA）と呼ばれるプロセスを自動化できる業務、アウトソーシングに適した業務、そして職員が担う業務にしっかりと区分していくと3月議会の一般質問の答弁で明言された。これによりDXが推進され、役場を利用する住民へのサービスの質が向上し、自前主義からの脱却が図られ、職員の働き方改革にもつながるとのことから、次について伺う。</p> <p>(1) BPRはDX推進の前準備としても役立つと承知しているが、DXでは、より広い視野で業務プロセスの変革を目指すこととなり、既存の業務プロセスや役場文化を維持したままでは、抜本的な変革を行うのは難しい。そのため、町ではDX推進においても、まずは業務プロセスの見直しが必要と考えた上でBPRを実施し、今年度中にDX推進計画策定につなげる予定と理解しているが、そのとおりか。</p> <p>(2) BPR実施のために5つのステップがあると承知している。検討、分析、設計、実施、モニタリング・評価の流れだと認識しているが、現在の進捗状況はいかがか。</p> <p>(3) BPRを実施するメリットとして、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産性が向上する。</li> <li>・意思決定がスピードアップする。</li> <li>・住民と職員の満足度が向上する。</li> <li>・リスクマネジメントに役立つ。</li> </ul> <p>等と言われているが、町の所見について伺う。</p> <p>(4) 一方で、工数や時間・費用がかかったり、理事者と職員の間には摩擦が起こりやすかったりする</p>

通告順	議員氏名	質問事項
4	3番 小山裕嗣	<p>などの懸念もあると思うが、その点はいかがか。 もしBPR上手く進まない理由があるとすればそれは何か。</p> <p>(5) 状況によっては、複数年にまたがって、必要とあらば外部委託も考え、徹底的に実施すべきと考えるが町の見解は。</p> <p>(6) 引き続きBPRに取り組み、業務プロセス全体の見直しと再構築を行う際に留意すべき事項があれば伺う。</p>

通告順	議員氏名	質問事項
5	4番 眞島聡子	<p><b>○公衆トイレとトレッキング環境の充実等について</b></p> <p>過去には旧スイス公使館の駐車場に24時間利用可能な公衆トイレがあったが現在はない。旧三笠ホテルの令和元年の来館者数は、9カ月間で7万人超であり、最も入館者数の多い8月には1万4,769人に達している。今後、旧スイス公使館の庭も整備され、旧三笠ホテルもリニューアルし充実することから、さらなる来館者が予想でき、今までのようにホテルのトイレを入館者以外に開放することは難しい。</p> <p>(1) 過去の答弁では、誰でも使える公衆トイレは必要との町の認識であったと思うが、現在、旧三笠ホテル付近の公衆トイレのニーズについて認識を伺う。</p> <p>(2) 「中部北陸自然遊歩道 軽井沢木洩れびのみち」をトレッキングされる方たちに白糸ハイランドウェイ料金所の従業員用トイレを貸していることや、年末の別荘防犯診断でトイレが必要となり困ったとの声を聞いている。今後、中部北陸自然歩道の橋が改修された際には、さらに多くのトレッキング目的の方が白糸の滝や峰の茶屋などを訪れることが予想される。公衆トイレは観光地の基本的なインフラであり、訪問者の快適な滞在や地域で活動する方にとって不可欠な存在であるが、旧軽井沢駐車場トイレから白糸の滝トイレまでは約10km離れていることを踏まえ伺う。</p> <p>①遊歩道入り口の旧三笠ホテル付近に公衆トイレがあることにより、トレッカーは安心して歩くことができ、防犯診断に取り組む方たちもトイレでの不安はなくなる。この場所に公衆トイレがあることは非常に重要であると考えているが、再設置に対する町の見解を伺う。</p> <p>②町はエコツーリズムに取り組んでおり、トレッキングを目的に宿泊する観光客も増加している。ある宿泊事業者からは、3割以上がトレッキングを目的とした宿泊者であるとの話を聞いた。町営旧軽井沢駐車場と白糸の滝入り口にある公衆トイレもトレッキングコースとしては重要な位置にある。古くなり建て直してほしいとの声を聞いているが、改修の予定を伺う。</p> <p>(3) 白糸の滝ハイランドウェイ入り口の料金所では、自然歩道をトレッキングするために自転車や自動車料金所入り口にまで来られる方がおり、有料道路の通行者に支障が生じている。今後の旧</p>

通告順	議員氏名	質問事項
5	4番 眞島聡子	<p>三笠ホテル駐車場の駐輪場計画とトレッカー向けの駐輪場及び駐車場の確保について伺う。</p> <p>(4) 町内には自然遊歩道以外にもトレッキングコースが多数ある。トレッキングやウォーキングコース内にその場所の自然や歴史等を記した説明板を設置することで、より充実したコースとなりトレッキングをする人も増えると考えますが、説明板の増設について町の考えを伺う。</p> <p><b>○重層的支援体制整備事業と支援会議について</b></p> <p>重層的支援体制整備事業は、すべての地域住民を対象に包括的支援の体制整備を行う事業で、新しい相談支援機関を設けるのではなく、既存の支援機関の機能を活かし、相互に連携を強化して市町村全体の包括的支援体制を構築する。また、新たな事業を行う市町村に対しての財政支援として、創意工夫を凝らした相談・地域づくり関連事業に係る補助等の取り組みが柔軟に実施できるよう交付金が一体的に交付される。これにより、従来の対象者を越えた支援が可能となり、包括的な支援や地域活動の展開がしやすくなる。</p> <p>(1) 町は「第4次軽井沢町地域福祉計画」の背景で、「複数の悩みを抱えながら生活している人もおり、適切な相談窓口や支援につながらず、問題は深刻化している。『制度の狭間』の課題を抱えている人に対し、民生・児童委員など、地域の関係者・機関と情報交換や連携をし、適性な対応を図る。」とし、対象者の属性を問わず、相談支援や参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に行う『重層的支援体制整備事業』の実施体制の構築を図っている。そこで、今後の支援体制構築への取り組みを伺う。</p> <p>(2) 「重層的支援体制整備事業」における「支援会議」は、市町村が実施し、守秘義務を設けることで、本人の同意がなくても情報共有に基づく支援が可能となる。これにより、社会福祉において重要な「予防」が強化され、問題が深刻化する前に支援につなげることができる。そこで伺う。</p> <p>①公共料金等の滞納をSOSと受け止め、早い段階で関係課と連携し対応することで、さらなる悪化を防ぐことができると考えるが、水道料金や町営住宅家賃の滞納等のトラブルが発生した場合、何らかの要因があるとみて相談支援者に</p>

通告順	議員氏名	質問事項
5	4番 眞島聡子	<p>繋げるため情報共有を行っているのか現状を伺う。</p> <p>②支援会議は、潜在的な相談者や自ら支援を求めることが困難な人、支援が必要な状況にあるにも関わらず支援が届いていない人などへ、まだ支援につながっていない本人との関係性やつながりに向けた支援を行うことができる。「支援会議」の必要性と設置に対する考えを伺う。</p>

通告順	議員氏名	質問事項
6	5番 福本 修	<p><b>○森林生態維持に不可欠なニホンジカの駆除方針について</b></p> <p>第6次長期振興計画では、農作物の被害や森林生態への影響が大きいとして、引き続きニホンジカなどの有害鳥獣駆除を行うとしている。農作物が食べられてしまうというのは分かりやすい被害だが、目に見えにくい被害としては、希少植物や下草、樹木の若葉を食べ尽くすことで発生する森林環境の衰退などを挙げることができる。</p> <p>ニホンジカの駆逐がうまく進んでいるかという、有害鳥獣駆除に実績のあったベテラン猟師の引退により捕獲数が減少するといった状況がある。そこで、今後のニホンジカの駆逐方針等について伺う。</p> <p>(1) 今後の捕獲頭数の見通しは。</p> <p>(2) 現在は林道の近くでのみ捕獲が行われているが、林道から離れた林の中や高標高域での鹿の被害が増加している。また賢い鹿が増加して罾の存在に気づき、捕獲数が減少している。高度な技術を持った人材や専門業者への委託が必要ではないか。</p> <p>(3) 令和5年度の決算審査の答弁で「今後シカ対策を重点的にやっていきたい」とのことだったが、具体策は。</p> <p><b>○公共交通ネットワークのビジョンについて</b></p> <p>だれもが使いやすい公共交通の整備は、特に児童、生徒、高齢者にとって非常に重要なことは明らかだが、実現できていない。そこで、今後どのようなステップを踏んで皆が満足できる公共交通ネットワークを形成するのかを伺う。</p> <p>(1) よぶのる軽井沢事業を通じて、どのような知見を得て、どのように活かすことができるのか。</p> <p>(2) 観光シーズンの渋滞問題を抱える当町としては、デマンド交通本格導入に際して、町内のどこまでもノンストップで運行するよりも、町内を2つ、あるいは3つのゾーンに分けて、かつ鉄道との乗り継ぎを組み合わせることが望ましいが、町の考えは。</p> <p>(3) 町内循環バスの効率的な運行のために、どのようなデータを活用しているのか。</p> <p>(4) 軽井沢中学校生徒の自転車通学時の事故が継続的に発生しており、バス通学を望む生徒・保護者は多いものの、待ち時間が長くなることから自転車での通学を選択せざるを得ない実情がある。そのような事情は承知しているのか。また今後ど</p>

通告順	議員氏名	質問事項
6	5番 福本修	<p>のように改善していく方針であるのか。</p> <p>(5) より良い公共交通ネットワーク実現のビジョンについて、具体的なタイムスケジュールとともに伺う。</p>

通告順	議員氏名	質問事項
7	2番 小林天馬	<p><b>○太陽光パネルの廃棄処理や安全対策について</b></p> <p>太陽光パネルは再生可能エネルギーとして注目され、導入が進んでいるが、近年、廃棄時の有害物質漏出や、設置されたパネルの破損による火災リスクが懸念されている。特に2035年には多くの太陽光パネルが寿命を迎え、大量廃棄が発生すると予測されており、適切な廃棄処理と管理が急務となっている。</p> <p>当町は自然環境が豊かで、別荘地や観光地としても価値の高い地域であり、環境汚染や火災事故は町の景観や住民生活に重大な影響を及ぼす可能性がある。このような背景を踏まえ、太陽光パネルの火災リスクに関する現状と対策について、町の姿勢を伺う。</p> <p>(1) 住宅用太陽光発電システム等補助や確認申請等から勘案し、町内には太陽光パネルがどの程度設置されているか。また、それらが寿命を迎える時期の予測はあるか。</p> <p>(2) 太陽光パネルは破損した際でも日が当たれば発電を行う可能性がある為、感電や火災のリスクがあり住民の安全に直結する問題である。また、経産省や環境省等が製造業者や事業者向けにガイドライン等を作成しているが住民にはその危険性について十分に周知されているとはいえない。</p> <p>当町として、住民への周知やリスクに関する啓発活動を行う予定はあるか。併せて、住民が自主的に管理や点検を行えるような支援策についての見解も伺う。</p> <p><b>○下水道未整備地域への浄化槽維持管理補助について</b></p> <p>当町において、地域ごとの下水道整備の進捗状況に差がある中で下水道に接続できない地域住民は浄化槽を使用しているが、浄化槽使用者は設置および維持管理に関わる対応や費用負担が大きいことで下水道区域拡大と下水道接続の要望も多い。</p> <p>一方、町『水循環・資源循環のみち2022』構想（以下、本構想）によると下水道事業は管理運営費が使用料収入を上回っており不足分を一般会計からの繰入金にて賄っている為、公共下水道区域の一部を集合処理方式から合併処理浄化槽による個別処理方式へ見直しを図るなど下水道区域はむしろ現状維持又は減少傾向である。</p> <p>また、当町は本構想において近隣自治体と比べて</p>

通告順	議員氏名	質問事項
7	2番 小林天馬	<p>実績値が低く、計画と実績の乖離も大きい為、新たな施策が必要と推察される。そこで以下伺う。</p> <p>(1) 町内での下水道利用者と合併浄化槽利用者の実数や割合は。またそれぞれ町民と町民外での実数や割合はいかがか。</p> <p>(2) 令和2年度時点の快適生活率や個別処理区域内の普及率、浄化槽の法定検査受検率の達成率は計画目標に対し低かったが、6年度時点にてどのような進捗か。改善されているか。</p> <p>(3) 下水道利用者と合併処理浄化槽利用者の年間平均負担額を比較した場合、どの程度の違いがあるか、金額の目安や考え方について伺う。</p> <p>(4) 小諸市等の先行自治体においては、下水道未整備地域に対し、合併浄化槽の維持管理における保守点検費用や清掃費用、法定点検費用などを補助する制度が導入され、住民の負担軽減に寄与している。このような補助制度を導入することで、当町の住民負担の公平性を向上させることができ、公共用水域の保全も図られ、かつ本構想の計画達成への後押しが出来ると考えられる町の見解は。また、導入検討する場合、予算の確保や補助金の適用条件の設定など、どのような課題が考えられるか。</p>

通告順	議員氏名	質問事項
8	6番 中澤睦夫	<p><b>○防犯カメラ・センサー設置への助成について</b></p> <p>最近住宅に押し入り、「闇バイト強盗」など暴力をともなう窃盗事件が発生している。当町でも窓ガラスを割って侵入して室内を物色され、現金等が盗まれる被害が連続発生しているという回覧板がきている。対策として防犯カメラ・センサーの設置が警察の方から指導がされている。</p> <p>ある地区では一人暮らしの高齢者をはじめ各家庭に防犯カメラとセンサーを配備するとともに公民館にWi-Fi環境を整備し、防犯カメラの録画映像を地域住民で確認し合いながら防犯対策を強化しようという協議がなされている。こうした動きに対し、町としても支援するべきだと思うことから質問をする。</p> <p>(1) 町における一人暮らし高齢者の見守り体制はどのような状態なのか。防犯に対応できるのか併せて伺う。</p> <p>(2) 地域での防犯対策を促進するため、公民館への共同Wi-Fi設置に対して全額助成すべきだと思うがどうか。</p> <p>(3) 個別家庭への防犯カメラ・センサーの設置に対して、半額助成する制度は考えられないか。</p> <p><b>○バランスある定住対策と家賃補助について</b></p> <p>当町では東部小学校の入学者が減り、東保育園の園児数も入所定員に達していない。一方、西地区では入園・入学者が増える傾向にある。その要因としては、地価や家賃により子育て世代の居住条件に差があるからではないかと考えることから伺う。</p> <p>(1) 東部小学校児童や東保育園児の減少の要因をどうとらえているか。その対策はどうか。</p> <p>(2) 東部小学区域に居住する子育て世代に家賃補助を行うことで、地域に長く住み続けることができ、地域全体の活性化やコミュニティの発展が期待できる。町で家賃補助を行う考えはあるか。</p> <p><b>○遊休農地対策における大豆栽培の振興、脱穀機の共同利用への助成について</b></p> <p>遊休農地を利用して大豆栽培をしている生産者がいる。その方たちは、「国産大豆は要望が強い。みそづくりなどで高く売れる」という。外国産大豆は遺伝子組み換えや農薬残留問題もあり敬遠している方もいる。自分たちで大豆を有機栽培し、みそづくり</p>

通告順	議員氏名	質問事項
8	6番 中澤睦夫	<p>をしているグループも町内にいる。しかし規模を広げるためには、年1回だけの脱穀機などの機械への設備投資が負担になるという。共同でも脱穀機を購入して設置する場所があれば、大豆の生産振興になり、遊休農地解消にもなると考えることから伺う。</p> <p>(1) 大豆生産の可能性をどう考えているか。また、脱穀機などの共同利用への助成制度を創出することについて町の見解を伺う。</p> <p>(2) 発地市庭の一角に脱穀機の作業所を設け、学校給食への供給や6次産業化に役立てる考えはないか。</p>